

学校だより 浅海



2022
9

松山市立浅海小学校
2022.9.1

2学期が始まりました！

校長 秋山 徹也

子どもたちが教室に帰ってきました！2学期も教職員一同、子どもたちにとってよりよい教育活動となるよう全力で努めてまいります。

さて、夏休みの間も新型コロナウイルス感染防止対策及び熱中症対策と、日々の生活とのバランスをとりながら、不自由な毎日を過ごされたのではないかと拝察します。また、世の中に目を向けると、自分の一方的な思いを行使し、他者を傷つけてしまっているような事案も見受けられました。

そこで、今回は、折り合いをつけることについて考えてみました。始業式でも子どもたちに同様の話をしたのですが、多様性が認められる現代においても、子どもたち自身が、決して「暴力」を認めることなく、折り合いをつける必要性を感じ、そのためのスキルを身に付けることは、大変重要なことと考えます。大人の場合、状況や立場によっては、相手をまるごと受け入れなければならないこともあります。今回お伝えしたいのは、自分を抑え込み、相手を全て受け入れるということではなく、自分の思いや考えを主張しながらも相手の思いや考えを受け入れ、話し合ったうえで「着地点」を見いだすことの大切さです。そのためにも、まずは、自分の思いや考えを的確に主張すること、つまり「伝える力」が大切であること。加えて、相手の思いや考えをしっかりと受けとること、つまり「聴く力」を養うことが大切であると考えます。

また、私の考えるこれらの力は、単なるスキルを身に付けさせることにとどまらず、伝えたり聴いたりするときの表情や醸し出す雰囲気なども含んだ総合的な力として捉えています。ですから、一朝一夕に養えるものではないし、年齢等によっても違いがあるだろうし、また、明確なゴールがあるわけでもありません。学校においては、学習活動や学校行事、委員会・クラブ活動、休み時間での対話や遊び、ひいては、子どもに対応するときの教師の姿や在り方そのものなどによって少しずつ浸透していくようなものであると考えます。学校を離れた場においても、周りの大人が子どもの声にしっかりと耳を傾ける姿勢は、大変重要であると考えます。

ご家庭や地域におかれましても、ぜひ、これまで以上に子どもたちの声に耳を傾けていただき、場合によっては話し合う場をもつていただくなど、ともに、子どもたちの「伝える力」「聴く力」を養い、折り合いをつけることができる子どもを育てるために、お力添えください。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



全校AOT（海岸清掃）行いました！！



7月12日（火）に全校AOT（浅海オレンジタイム）の最後の活動として、海岸清掃・水遊びを行いました。海岸清掃では、ふるさとの海を大切に守っていききたいという気持ちをもちながら、一生懸命に行いました。清掃活動には、保護者の方々や地域の方々にも協力していただきました。ありがとうございました。

また、海岸清掃をして終わった後は、水遊びを行いました。この夏、初めて海に入る児童も多く、全校で夏の思い出を作ることができました。

松山市野外活動センター集団宿泊活動

5年生が7月7日（木）～8日（金）の日程で、松山市野外活動センター（レインボーハイランド）にて、難波小、立岩小、正岡小の子どもたちと一緒に集団宿泊訓練を行いました。子どもたちは、4校合同で5班に分かれ、オリエンテーリングをしたり、キャンプファイヤーで友情を深めたりしながら楽しい二日間を過ごしました。

感染症対策を行いながらも他校の友達ともすぐに打ち解けて、仲よく過ごすことができました。

